



議長の目^{アイ}ランド



人が生活していくために必要なものと言えば先ず、空気や水、食物、住む所、電気と、一瞬で生命に係わるものから、時間が過ぎると徐々に影響の出ているものがある。その一つに通信がある。郵便、電信、電話、パソコン等は人と人との意思の疎通を図る便利な道具だと思う。特にパソコンの普及や活用は目覚ましく、会社や個人が島外と情報のやり取りをするのに使用しているのだが、使いたいときに使えない、知りたいときに知る事ができないという状態が何年も続いている。

そこで、伝達容量が大きく処理能力の早い光ファイバーケーブルで本土と繋げば、今困っている事がほぼ解消できることになる。ここに現在の光ファイバーケーブル敷設工事の計画と進捗状況を報告します。

4ヶ年の工事計画

- | | | |
|-----|--------|---------------------|
| 第一期 | 平成28年度 | 御蔵島・神津島（工事は着工しています） |
| 第二期 | 平成29年度 | 式根島・新島 |
| 第三期 | 平成30年度 | 利島 |
| 第四期 | 平成31年度 | 青ヶ島 |

となっているが、結果が出るまでは何が起きおるかわからない。豊洲市場の例もあるので完全に完成するまでは今後も村と共同して国と東京都に陳情要望していきます。

公共施設再見

第2回 新島村養殖場施設（下）

7月上旬、議員は養殖場を訪れ、現場を管理する宮川昇士氏（平成13年から現職）から直接、話を伺った。

まず現状をざっと概観するとA池のイケス6基にはそれぞれ採卵用の親真鯛50～60尾、天然真鯛24尾、平成26年度仕込んだ真鯛2,800尾（来年度出荷予定）が入っていて、2基が空いている。現在コンテナハウス内で育成している稚魚が一定の大きさに成長したら、空いているイケスに移す手はずとなる（11月現在、イケスには5,000尾の幼魚が移されている）。

平成24年度、25年度の2ヵ年、真鯛の種苗生産が村の方針でストップしたことで、現在の養殖魚の生産に大きく響いている、と残念そうに話していた。